

危険物新聞

1月号

第829号

発行所 公益財団法人大阪府危険物安全協会
〒556-0017 大阪市浪速区湊町1丁目4番1号
O C A Tビル4階
TEL 06-7507-1169 FAX 06-7507-1470
URL: <https://www.piif-osaka-safety.jp/>
Email: anzen@osaka-safety.or.jp

令和4年度重点項目

危険物の取扱いや危険物施設等におけるリスク内容等を把握し「安全確保」の自覚と確立により事故防止を図る

- (1) 危険物や貯蔵、取扱場所でのリスクアセスメントの徹底により危険要因を把握する (2) 想定されるリスクに対する対策と体制を整備する
(3) 設備の設計思想や作業手順の背景にある原理原則を理解する (4) リスクに気づく感性のある人材を育成する (5) ヒヤリハット事例等の情報共有により企業全体で「安全確保」を確立する



新たな年を迎え…

公益財団法人大阪府危険物安全協会
理事長 吉田龍藏

皆さま明けましておめでとうございます。令和5年の新春を迎え、謹んでお喜びを申し上げます。皆さま方におかれましては、当協会事業に対し、日頃よりなにかとご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国においては、いまだ「新型コロナウイルス感染症」の影響が収まらず、また世界に目を向けると昨年2月からのロシアによるウクライナ侵攻に続き、エネルギー不足、食糧不足を引き起こしております。

ただ人類はこの苦難の時期に様々な努力を惜しんでおりません。ワクチン生産から新薬の開発、人々が直接交流する代わりに更なるIT技術の頭角など…。我が国においても、DX（デジタルトランスフォーメーション）への推進やそれに適応するためのリスクリングが推奨されてきています。皆さまにおかれましても、その対応に追われていることでしょう。また、国内におけるインボイス制度にも対応しなければなりません。

役所においても様々な申請がデジタル申請に変わりつつあります。当協会におきましても内部事務のペーパーレス化を目指すとともに、各申込みをさらにしやすくするためのシステム変更を行う予定です。

かのアイザック・ニュートンが17世紀ヨーロッパで大流行したペストでの2年間の自主隔離期間を「創造的休暇」と唱え、自らは「万有引力の法則」をも発見しました。明けない夜はありません。今年は、多くの犠牲の上で打ち勝った「コロナ元年」とすべく大きな希望を抱ける年にしたいものです。併せて、世界平和と私たちの子孫が未来永劫この美しい地球で自然と共存できますよう新たな一歩を皆さまとともに歩んでいきたいと存じます。

最後に、本年が皆さま方にとって幸多い素晴らしい一年となりますよう祈願し、一年最初の挨拶とさせていただきます。



年頭所感

大阪府知事

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、長引くコロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵攻が世界に衝撃を与え、その後のエネルギー危機や物価高騰などが私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。本府では、府民の命と暮らしを守ることを最大の使命として、感染症対策や物価高騰対策を切れ目なく実施し、府民や事業者の皆様とともに困難に立ち向かってきました。

一方で、大阪・関西万博の開幕1,000日前イベントや、3年ぶりの御堂筋オータムパーティー、さらには、26年ぶりに日本一に輝いたオリックス・バファローズの優勝パレードが行われるなど、大阪の街にもにぎわいが戻ってきた1年でした。

2023年は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰への対策を着実に進めるとともに、大阪府・大阪市が連携して取り組んできた成長戦略、まちづくりについて、万博をインパクトとして、これまで以上に府市一体となって大阪が成長・飛躍する土台づくりを進めていきます。

全国的に、コロナの感染者が増加しています。発熱外来の強化をはじめ、重症化リスクの高い高齢者や小児への治療・療養体制の充実など、オール医療提供体制の確立を進めていきます。インフルエンザとの同時流行に備えながら、感染症対策に万全を期すとともに、府民の皆様には、感染防止対策の徹底はもちろんのこと、早期のワクチン接種、検査キットや常備薬の準備をお願いします。

また、40年ぶりの急激な物価高騰を踏まえ、食費負担が大きい子育て世帯を支援するため、お米等の食料を配付します。さらに、コロナ禍で孤独・孤立の問題が顕在化していることを受け、ひきこもりやヤングケアラーなどに対して、行政や民間支援機関などオール大阪の体制で取り組んでいきます。

暮らしを支えるセーフティネットを充実させながら、感染症対策と社会経済活動の維持を両立する「ウイズコロナ」を実現していきます。

大阪・関西万博の開催まであと2年余りとなり、いよいよ会場建設工事が本格化します。国や博覧会協会、経済界、府市が一体となって準備を加速させ、確実に万博の成功につなげます。地元パビリオンである「大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn」では、最先端の再生医療技術（iPS細胞）を活用した『生きる心臓モデル』の展示に向けて取り組んでいます。未来を担う子どもたちをはじめ、訪れた人々が「いのち」や「健康」、近未来の暮らしを感じ、ワクワクする展示を行い、大阪のポテンシャルを世界に示す万博にしていきます。

また、10月にはG7貿易大臣会合が大阪・堺で開催されます。万博への弾みとするとともに、世界遺産である「百舌鳥・古市古墳群」や大阪産（もん）など、大阪・堺の魅力を世界に発信していきます。

2025年をターゲットイヤーに、万博という大きなチャンスを最大限に活かし、新たな価値を創出することで、大阪の成長に着実につなげます。

「my iPSプロジェクト」など、大阪・関西で取り組まれている最先端の医療技術を万博で発信・披露するとともに、再生医療の産業化等をめざす未来医療国際拠点の形成を進めます。次世代モビリティである空飛ぶクルマは、万博会場を中心とした商用運航の実現に向けて、実証実験などでの準備を重ねます。さらに、カーボンニュートラルの実現に向けた次世代蓄電池や水素の技術開発・実証や府民の暮らしを便利にするデジタル改革など、先進的な取組みを重点的に進めます。

さらに、万博後の大阪・関西の成長エンジンが、IRと国際金融都市の実現です。IRは、国による区域整備計画の認定を得られれば、いよいよ開業に向けて動き出します。ギャンブル等依存症対策については、昨年末に対策推進本部を立ち上げたところであり、正面から取り組んでいきます。国際金融都市の実現に向けては、昨年12月に英国で投資家等に向けたプロモーション活動を行いました。世界からの投資を大阪に呼び込み、金融の力で大阪の成長を加速させていきます。

大阪の成長・発展には、その基盤となる都市インフラが不可欠です。万博にあわせてさまざまなプロジェクトが進行しています。淀川左岸線、なにわ筋線、大阪モノレールや北大阪急行の延伸などのインフラ整備や、3月に新駅開業を迎えるうめきた2期をはじめ、新大阪駅周辺地域や大阪城東部地区などの拠点開発を着実に進めていきます。また、昨年策定した、大阪全体のまちづくりの方向性を示す新しいランドデザインをもとに、市町村とも協力しながら、官民一体となって取り組みます。さらに、今後高い確率で発生すると予想される南海トラフ巨大地震に備え、府市で大阪湾の防潮堤の液状化対策を進めており、三大水門の更新と合わせて、災害対応力を強化していきます。

大阪の成長を実現させ未来を切り拓くのは、「人」の力です。特に、次世代を担う子どもたちがチャレンジできる環境づくりに投資をします。英語教育の推進やICTの積極的な活用など、グローバル社会に対応できる人材の育成に力を入れます。また、公立・私立を問わず、特色・魅力ある高校づくりを進めていくことで、大阪の教育力の向上を図るとともに、支援を必要とする児童・生徒の増加を踏まえ、新校設置をはじめとした支援学校の整備を進め、子どもの多様性に応じ、誰一人取り残さない教育をめざします。さらに、昨年4月に開学した全国最大規模の公立総合大学である大阪公立大学において、国際社会で活躍できる人材の育成に取り組みます。

コロナや物価高騰など、依然として、私たちはさまざまな課題に直面していますが、2年後の万博を千載一遇のチャンスととらえ、皆様とともにこの危機を乗り越え、大阪の成長を実現し、世界の課題解決に貢献する国際都市・大阪をめざします。

府市がより一層連携を強化することで、東西二極の一極として日本の成長をけん引し、豊かで利便性の高い暮らしを実感できる「副首都・大阪」の確立をめざします。

本年も、府民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げますとともに、皆様にとって素晴らしい年となりますようにお祈りいたします。



新年を迎えて

大阪府下消防長会会長
大阪市消防局長
小西一功

令和5年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は大阪府下の消防行政の推進に格別の御理解、御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が我々の生活を一変するに至ってから3年の月日が流れました。この3年間、会員事業所の皆様におかれましては、俯くことなくひたむきに日々の業務を遂行してこられたことに、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年大阪府内における危険物施設の事故の状況については、特筆すべき事故は発生しませんでした。このことは、皆様の日頃からの危険物に対する意識の高さと徹底した保管理体制の賜物であると考えております。しかしながら、大きな事故には発展しなかったものの、操作確認の不十分や誤操作等、注意、確認をしっかり行っていれば防げた事故が少なからず発生していることも事実です。皆様におかれましては、引き続き日常点検の徹底をお願いするとともに、従業員の方々への保安教育・訓練の充実に一層の御尽力をいただきますようお願いいたします。

大阪府下消防長会といたしましても、危険物施設の「事故ゼロ」を目指し、皆様とともに、安全

対策の充実に取り組んで参ります。

話は変わり、2年後の2025年には大阪市此花区の夢洲において「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに「大阪・関西万博」が開催されます。昨年、大阪・関西万博公式キャラクターが「ミヤクミヤク」と命名されました。その名には、今まで脈々と受け継がれてきた伝統を未来に受け継いでいくという思いが込められています。

大阪府下消防長会も、今後とも、皆様とともに安全な都市「大阪」を目指し、後世にしっかりとその意思を継承していくことで、輝かしい大阪の未来を築いていく所存でございます。

結びにあたり、新型コロナウイルス感染症が一刻も早く終息し、平穏な日常が戻ることを切に願うとともに、大阪府危険物安全協会のますますの御発展と会員事業所の皆様の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、私からの新年の御挨拶とさせていただきます。



設計 製作 販売

タンクトレーラー・タンクローリー・タンクコンテナ・ポータブルタンク

特殊液体輸送の信頼できるパートナー

TONAN 東南興産株式会社

本社 〒552-0021 大阪市港区築港4丁目1-1 辰巳商会ビル7F TEL 06-6576-1901 FAX 06-6576-1950

特装部 〒554-0052 大阪市此花区常吉2丁目10-39

TEL 06-6463-0005 FAX 06-6466-1316

<http://www.tonan-kosan.co.jp>



新年を迎えて

一般財団法人全国危険物安全協会
理事長 兵谷芳康

令和5年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

公益財団法人大阪府危険物安全協会及び会員の皆様におかれましては、日頃より危険物に関する安全思想の普及啓発や危険物施設における安全対策の推進などにご尽力され、地域の安全・安心に多大なる貢献をされておられますことに、あらためて深く敬意を表します。

昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻や新型コロナのまん延など緊迫した世界情勢となりました。このためLNG、小麦、半導体など私たちの生活に欠かせないモノが不足し、記録的な円安がこれに輪をかけ、幅広い分野での物価上昇が続いています。コロナの第8波も心配です。またカーボンニュートラルへの取組も今後の大きな課題です。

一方で、コロナ禍を機に、これまで遅れていた働き方改革が進み、電子申請の導入やオンラインによる会議・講習の実施などデジタル化も一気に進展しています。

当協会におきましても、危険物に関するデジタル化として、各都道府県がオンラインでの保安講習を本格的に実施できるよう新たにシステムを整備し、支援をしております。また当協会が行う地

下タンク・移動貯蔵タンク等の定期点検技術者講習についても、対面講習と併用してオンラインによる運用を始めました。

また、普及啓発の面でも、YouTubeに開設した「全危協チャンネル」にこれまで4本の動画を配信しましたが、開始1年で既に8万回を超える視聴をいただきました。今後もさらに動画を作成し、幅広い層への情報発信に力を入れてまいります。

一方、新型コロナ対策や近年の諸物価の高騰などにより各県危連の運営が大変厳しい状況となっておりますことから、少しでも財政面での支援となるよう新年度には県危連への委託業務について、その委託料の引上げも行いたいと考えております。

一般社団法人全国危険物安全協会としては、今後も関係機関及び公益財団法人大阪府危険物安全協会をはじめ各都道府県危険物安全協会連合会の皆様と緊密な連携を図りながら、安全思想の普及・啓発など危険物に関する安全の確保を図ってまいります。

結びに、公益財団法人大阪府危険物安全協会が吉田理事長を中心としてますますご発展されますこと、また会員の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

都市との共存 ———— 正確 安全 確実

危険物設備なら信頼の技研。

危険物タンクの漏洩検査

〈平成16年4月1日法改正対応〉

- 危険物設備の設計・施工
- 発電設備(非常用)燃料タンクの製造・販売
- 危険物タンクまわりの付属機器の販売

危険物設備の安全をトータルにリードする

株式会社 技研

〒663-8113 兵庫県西宮市甲子園口2-24-12 TEL.0798-65-5100 (代表)

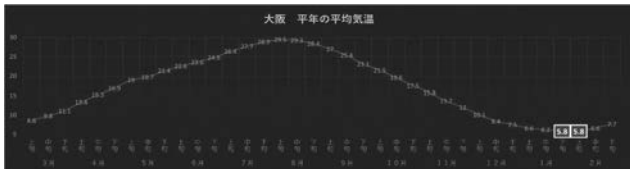
GIKEN

「冬至よりも1か月以上遅れて真冬がくるのは？」

1月25日は「日本最低気温の日」です。日本で最も低い気温が観測された日だからです。

最低気温ランキング			
1	北海道 旭川市	-41.0°C	1902年1月25日
2	北海道 帯広市	-38.2°C	1902年1月26日
3	北海道 旭川市郊外の江丹別	-38.1°C	1978年2月17日
4	富士山	-38.0°C	1981年2月27日
大阪府 大阪市			
		-7.5°C	1945年1月28日

その気温が観測されたのは北海道の旭川市で、今から120年以上前、明治35年の1月25日です。その気温はなんと、-41度です。ちなみに冷凍庫の温度は-18度前後で、北海道では冷凍庫よりも寒い日もありますが、それにしても-41度というのは、想像もつかないほどの寒さです。また、2番目に低い気温が観測されたのも、北海道、こちらは帯広市。同じ年の翌日、1月26日です。このころ相当な寒波がやってきていたのだと想像できます。3番目の北海道旭川市郊外の江丹別で観測された-38.1度までは富士山で観測された最低気温よりも低いことにも驚きです。大阪の過去最も低い気温は昭和20年1月28日の-7.5度です。北海道とは比較になりませんが、大阪は年に3、4日程度しか0度を下回る日がなく、マイナスの予想ができればこれはかなり冷え込むと身構えるほどであることを考えると、-7.5度とは相当寒かったのではないかと思います。この冬もその記録が塗り替えられることがないことを祈るばかりです…。

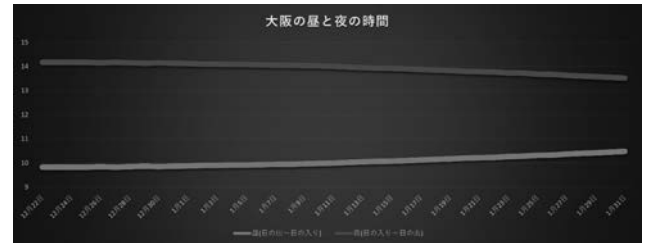


こちらは大阪の平年の平均気温です。最も低い時期は1月下旬と2月上旬の5.8度です。この時期が真冬になります。ただ、太陽が一年で最も空低いところを通り、昼の時間が一年で最も短くなる冬至は2022年は12月22日でした。冬至を含む、12月下旬よりも一か月以上遅れて真冬

が来るんです。

昼が長ければ地球から出ていく熱よりも太陽から受ける熱のほうが多くなりますが、反対に夜が長ければ受ける熱よりも地球から出ていく熱のほうが多くなります。

こちらは冬至以降の昼の時間と夜の時間の長さを表したものです。



冬至は1年で最も昼が短く、夜が最も長い日なので、熱が出ていく量が1年で最も多くなります。ところが、冬至を過ぎても夜の時間は徐々にしか短くならず、しばらく熱が出ていくほうが多いんです。このため冬至を過ぎてからも気温が下がり続け、1か月以上たったあとに寒さが最も厳しくなり、真冬となるんです。

その寒さがあるからこそ生み出される美味しいものもあります。味噌、醤油、お酒、そして、そうめん。そうめんという食べることが多いのは夏だと思いますが、生産が最盛期を迎えるのは冬、それも寒さが厳しいころなんです。天日干しして、麺を乾かしていきます。寒さは身体には堪えますが、美味しいものが生み出されていると考えてしまうと、耐えるしかないなとも思いますよね？



坂下 恵理 (さかした えり)

株式会社 南気象予報士事務所
気象予報士・防災士・
健康気象アドバイザー

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~tenki-minami/index.html>

先進物流で顧客ニーズに応える。

1998年 ISO9001 認証取得
2008年 ISO14001 認証取得
2008年 CDI-T 初回審査(2015年更新:97%適合)

化学品の海上輸送から
陸上での保管・輸送まで一貫サポート

- ケミカルタンク
- ケミカルタンカー
- タンクローリー
- 危険物倉庫

AST Inc.
アスト株式会社
本社 / TEL 06-6538-2781
東京支店 / TEL 03-3664-9440



<http://www.ast-inc.jp/>

基礎的な物理学・化学 #6

「水は実は変わり者」

大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻
教授

安田 誠

<http://www.chem.eng.osaka-u.ac.jp/~yasuda-lab/>

わたしたちの身の回りにある「水」について、あらためて考えてみよう。雨が降り、川となって海に流れ込み、雲になってまた雨が降る。水はこのように大きく循環しており、地球は水の星といわれている。動物も植物も日々、水を摂取しており、水がなくては生きることができない。我々の体の約60%は水分が占めている。また、この記事の読者にとっては、水が消火剤として最も代表的であることを思い浮かべるかもしれない。

このように、大量に、あたりまえのように我々の身の回りに存在する水であるが、実は、化学的にはとても不思議な性質をもった変わり者である。

◆水の沸点、融点

水 (H_2O) は酸素の水素化物である (OにHがくっついていきますよね)。その観点から、水の類縁体でかつ分子量が近いものとして、炭素の水素化物であるメタン (CH_4) と窒素の水素化物であるアンモニア (NH_3) と性質を比較してみる。下には、これらの沸点、融点を示している。水だけが常温常圧で液体であり、明らかに、類似の化合物に比べて、水は融点と沸点が極端に高く、かなり変わり者であることがわかる。

化合物	化学式	分子量	常温・常圧で
メタン	CH_4	16	気体
アンモニア	NH_3	17	気体
水	H_2O	18	液体

化合物	融点 (°C)	沸点 (°C)
メタン	-183	-161
アンモニア	-78	33
水	0	100

◆水の密度

一般に多くの物質は、液体から固体へ変化する

際、体積が減少 (密度が増加) する。しかし、水は液体から固体へ変化する過程で体積が増加 (密度が減少) する性質があり、変わり者である。水は固体の方が液体より密度が低いので氷は水に浮くわけであるが、これは水に特有のことであることを再認識してほしい。冬の湖において表面が凍結している景色を見ることがあるが、氷の下は液体の水である。もし、水が普通の性質をもっていたら、氷は底から溜まり、浅い地域では表面まで凍ってしまうであろう。海においても、下の方からどんどん冷えて氷が溜まっていき、現在とはまったく違った世界になっていたであろう。はたして、生物は地球に繁栄していたかも大きな疑問である。つまり、この水の変り者の性質のおかげで、我々は現在の世界を生きているといえる。状態図における融解曲線が水では負の傾きをもっていることは、このことが原因である。

◆水の比熱

物質によって、熱しやすさ、冷めやすさ (熱しにくさ、冷めにくさ) は異なり、これはそれぞれの物質特有の性質である。鉄は熱しやすく、冷めやすいし、水は熱しにくく、冷めにくいということがよく例に挙げられる。この性質を数値として示すものが**比熱**で、質量1gの物体を1°C上昇させるのに必要な熱量と定義される。水1gを1°C上昇させるのに必要な熱量を1calと定義しているのもので、水の比熱は1cal/g°Cである。1cal=4.186 Jなので、水の比熱は4.186J/g°Cとも表現される。一方、鉄の比熱は0.104cal/g°C (0.437J/g°C) である。このように、水は比熱が大きいことが特徴として挙げられる。水が消火剤として用いられる理由のひとつに冷却効果があり、水の蒸発熱 (液体から気体にするために必要な熱量) が大きいことに加えて、この大きな比熱が理由である。

来月は、この不思議な水の性質は、なぜおこるのか、なぜ水は変わり者なのかについて解説していく。

南海トラフ沖地震に備える

神戸大学名誉教授
兵庫県立大学特任教授
室崎 益輝

<http://www.murosaki.jp/index.html>

阪神・淡路大震災から28年を迎える。阪神・淡路から28年が経過ということは、それだけ南海トラフ沖地震に近づいた、ということだ。西日本の過去の災害履歴を見ると、巨大地震が次々と起こる活動期は、大規模な直下型地震が発生してから、南海トラフ沖地震が発生するまで、ほぼ50年間続く。現在の活動期が、阪神・淡路大震災から始まっているので、次の南海トラフ沖地震が発生するのは、ほぼ22年後と逆算できる。「今後30年以内に8割の確率で起きる」といわれる所以である。

その周期性は、プレート境界における地震エネルギーの蓄積と開放のメカニズムを反映したものであるが、揺らぎのある自然現象なので、10年後かもしれないし40年後かもしれない。何れにしろ、目の前に南海トラフ沖地震が迫っていることだけは確かで、都市の不燃化や施設の耐震化などにかかる手間と時間を考えれば、「待った無し」の状態にある。それだけに、巨大地震を想定した防災対策のギアチェンジが急がれる。地震対策の総点検と総出動を促したい。

ということで、正しく恐れ正しく備えなければならぬ。正しく恐れるということでは、次の南

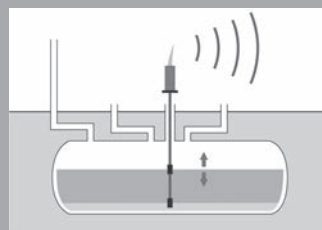
海トラフ沖地震の特性を正しく捉える必要がある。その要点は、以下の3つである。第1に、過去に例を見ない超巨大な地震が発生するということ、第2に、感染症蔓延や食糧危機といった厳しい環境の中で発生するということ、第3に、高度に発達した情報エネルギー社会が大地震の洗礼を受けるということである。昭和の南海地震や28年前の阪神淡路大震災とは、まったく違ったことが起きる。

阪神・淡路と違って、巨大津波が押し寄せる、長周期振動に見舞われる、広域的に被害が発生する、といった特質を持つ。巨大津波ということで、沿岸部の市街地は火攻めに加え水攻めにもあう、長周期ということで、超高層ビルや大規模施設が大きな被害を受ける、広範囲の被害ということで支援が届かないことを、覚悟しなければならない。ここで見落とせないことは、昭和南海トラフ沖に比して、マグニチュード9.0と放出されるエネルギーが数十倍と大きいことである。

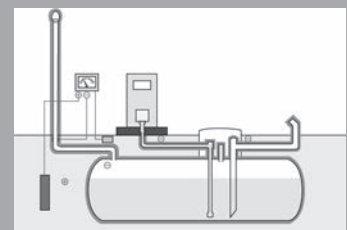
感染症などとの複合災害も覚悟しなければならない。加えて、経済危機や食料危機が追い打ちをかけてくる。二重苦、三重苦ということで、国家の存亡が問われることになる。となると、壊滅的な被害を受けないように、今のうちから減災対策や防護体制を強化すること、事業継続や迅速復旧の準備をしておくこと、危急時のエネルギー供給のシステムを構築しておくことが欠かせない。この事前防備ということでは、エネルギー供給の使命を持つ事業所の果たすべき役割は極めて大きい。

40年以上経過した
地下タンクの
老朽化対策は
弊社へご用命ください。

タンクの漏えいを常時監視！
高精度液面計



営業を続けながら施工可能！
電気防食工事



TEL 072-968-2211

info@nssk.co.jp
Web <https://nssk.co.jp>

大阪本社 〒578-0911 大阪府東大阪市中新開2丁目11-1
TEL.072-968-2211 FAX.072-968-3900
東京営業所 〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2丁目21-6
TEL.03-5721-4789 FAX.03-5721-4787

日本スタンドサービス株式会社

型破りな親と私のストーリーズ Vol.6

干支がだいたい揃う家

コラムニスト・小説家
中島 さなえ

新しい一年の始まり。2023年の干支はうさぎということで、私の家にいるうさぎが今年は大活躍してくれるはずだ。

兵庫県にある中島家には、私が物心ついた時から動物がわんさかいた。母が動植物を大好きなものだから、最初たった一匹飼っていた雑種犬から、あれよあれよという間に増えていったのだ。犬、猫、うさぎのスタンダードなモフモフ系の動物はもちろん、ハムスター、モルモット、リス、チンチラ、アヒル（これは小学校の時に一時預かりしたもので、母は庭に手作りの池までこしらえていた）、鳥、亀、すっぽん、タツノオトシゴ、ブラックアロワナ、ウーパールーパー、トカゲ、蛇、サソリ、タランチュラ、名前のわからないたくさんの魚、などなど、家の中はマイナスイオン大量発生で大変なことになっていたのだ。そういったことで、冷凍庫の中には人間が食べる鶏肉の上に、蛇にやるピンクマウス（冷凍餌のネズミの赤ちゃん）がドドンと置かれていたり、食卓の上に餌用のコオロギやゴキブリの入ったケージが鎮座しているなどして、無法地帯もいいところだった。「非常事態で食料がなくなっても、うちは食物連鎖でしばらくは生きていけるね」とよく冗談で言っていたものだ。虫をトカゲが食い、トカゲを猫が食い、といった具合に（想像したらそんなもん

絶対に嫌だけど）。

一時期、手作りの年賀状を出していた時は、中島家にいる動物の写真でだいたいまかなえて便利だった。子年→ネズミいる、丑年→牛はいない、寅年→猫が近い、卯年→ウサギいる、辰→タツノオトシゴいる、巳年→蛇いる、午年→馬いない、未年→残念ながら羊もいない、申年→似たようなもんで人間、酉年→鳥いる、戌年→犬いる、亥年→イノシシ不在。グレーゾーンも入れたら12中8、実に66%の動物が揃っていたということで、家庭内サファリパーク認定ということでもいいだろう。

今年の干支であるうさぎは庭の半分にうさぎの居住空間が作られ、そこで飼われていた。子うさぎが生まれたりなどして、多い時は7~8匹はいたように思う。たくさんの動物に囲まれて育ったので、動物と一緒に過ごす事が当たり前になってしまった。いま私の家にいるうさぎはデーヤン・スパラヴァロという名前のネザーランドドワーフだ（前に飼っていた真っ黒なうさぎが「ムーンライト横山」という芸人みたいな名前だったので、張り切って高貴な名前をつけた）。

今年の春、私は今住んでいる東京から関西に転居する予定で、今年にはデーヤンからすると、生まれて初めての旅を冒険する忘れられない年になるはずだ。どうかうさぎのデーヤンにとっても皆様にとっても、2023年が良き一年になりますことを。



防爆冷温機器の Daido



防爆スポットクーラー



防爆冷凍冷蔵庫
DGFシリーズ(150ℓ～)

◆防爆スポットクーラー◆

第1類、第2類危険箇所での使用が可能なスポットクーラーです。夏季の危険場所での熱中症対策や高温の労働環境改善に。

◆防爆冷凍冷蔵庫◆

危険物倉庫内の第4類危険物の低温保管、また反応活性を抑え冷暗保管が必要な引火性試薬の保管に施錠機能付防爆冷蔵庫。



防爆シーズヒーター



防爆自己制御ヒーター

- 危険場所での凍結防止、反応容器の熱源に防爆シーズヒーター。
- 低温で固化する引火性薬品の安全な融解や引火性のある塗料・接着剤の粘度安定化に防爆自己制御ヒーター。



株式会社 大同工業所

大阪府東大阪市楠根1丁目6番45号
TEL 06-6746-7141 FAX 06-6746-7195
http://www.daido-ind.co.jp

防爆電気機器を安全に設置、運用、保守頂くために、(一社)日本電気制御機器工業会が推奨するSBA-Ex(防爆電気機器安全資格)等の防爆専門知識を保有・活用されることをお勧めします。